

宮城県高齢者生協新聞

(ささえあい生協宮城)

2016年7月1日号(第117号)

■発行所 宮城県高齢者生活協同組合
発行人 菅野 俊明

〒981-8006

仙台市泉区黒松1-3 1-9

杉本ビル2F

TEL 022-727-6577

FAX 022-727-6588



No. 117

E-mail: koreikyo@poppy.ocn.ne.jp

URL: <http://miyagi.koureikyou.or.jp>

新事業に挑戦し、 福祉の拠点作りの実現へ！

～第17回通常総代会を開催～



丹野理事長より挨拶



会場の様子(仙都会館8階会議室)



事業所の活動紹介

●総代会終了後、会場を移して懇親会を行い、組合員、職員、役員が交流を深めました。

●宮城県知事、仙台市長、その他多くの方々よりメッセージをいただきました。

黒松連合町内会会長 佐藤斌夫様

安宿関連法「Reaction」
副会長理事 坂井哲雄様

高齡協連会
前理事長 今田隆二様

公益財団法人宮城厚生協会
常務理事 加藤房子様

宮城県生協連会
●5名の来賓の方にご出席をいただき、「祝辞を頂戴いたしました。」

宮城県生協連会

●10名の方から質疑やご意見をいただき、提案された全議案は賛成多数にて採択されました。

●6月20日(日)、仙都会館にて第17回通常総代会を開催しました。

(本人出席66、委任状2、書面議決書19、合計87(出席率:90%)

10名の方から質疑やご意見をいただき、提案された全議案は賛成多数にて採択されました。

◇開会のご挨拶

佐々木陽悦副理事長が司会を務め、開会をいそいそ行いました。

◇理事長のご挨拶

(丹野幸子理事長)

この一年は、協同組合の大義と目覚め立った議論が活発に交わられました。高齢協は長生きしてよかったです。高齢協は長生きしてよかったですといえる社会実現をめざしている協同組合であり、高齢協連合会市川理事長の言葉を借れば、事業活動を通じて人間らしい心豊かに暮らせること、そのことが究極の平和への道を行っているとであり、介護の仕事は祖国への愛を込めて平和の道を切り開いていくものであると述べておられました。本日の総代会、活発な議論を期待しております。

◇議事録

議長推薦を受けた竹内信男総代と蛇口実華総代の紹介があり、満場一致で議長に選出された就任しました。

◇議案の提案

第1号議案「2015年度事業報告及び決算承認の件」、第2号議案「2016年度事業計画及び予算決定の件」は高野事業部長より、第3号議案「役員選任の件」、第4号議案「役員報酬限度額決定の件」、第5号議案「議案決議効力発生に伴う水野事務理事より提案を行いました。監事報告は、菊地さとし監事から頂戴しました。」

◇質疑(疑問)

○昆布谷清総代
議案書の9ページ。事業外損益432千円の表記は「経常利益432千円」に、2016年度当期純損益の102千円の表記は「当期純利益102千円」になるのではなからうか。2ページの損益計算書ではそのようになっています。回答を。

○菅原慶子総代

○熊倉秀紀総代

小規模多機能の施設は私たち利用者にとってはたのしい施設だと思います。反面、経営する側は不安を抱えることになると思います。重慶の方が利用、お泊まりも不安な方がいる。介護士さんが足りない、看護師さんが足りないなど様々な問題が考えられます。いろいろ調査・議論したいと思いますが、その辺を聞かせて欲しい。

◇提案・意見(疑問)

○熊倉秀紀総代

(1) 医者を含み込んだ活動を提案します。

数年にわたり利府町や行政区の集まりで認知症予防の普及活動をしてきました。分かったことは、それぞれのお宅でかかりつけ以外の医者がいないこと。どこに行っても聞いたら、いいかわからない状況です。

(2) 孤立している高齢者の見守りとお買い物支援することを提案します。県全体に渡って、孤立している高齢者が多く、その方の見守りとお買い物の手伝いが必要です。

○熊倉秀紀総代

身寄りの無い高齢者や障がいを持った人の身元引受や生活支援をする事業を提案します。

病院に入院する際、老人ホームに入居する際に身元引受人がいない方も増えていくでしょう。自分が老人

ホームで管理者をした経験もあり、非常に困った思いもしている。他のNPO法人で実際にやっている取り組みを参考に、ぜひ組織的にしっかりと団体に事業を行って欲しい。

○水戸部秀利理事

(1) 市民共同発電の報告

3. 1-1の福島原発事故を目の当たりにして、これからの日本は原発にたよるべきではなく再生化のエネルギーにシフトするべきだと思います。3年前から原発を無くしたいという思いから市民が毎週金曜日を集まる「脱原発金曜日」を実施して180回を超えました。

市民の手で電力を生み出す「NPOのエネルギー発電」を立ち上げ、井戸浜に第一号発電所50キロワット、第二号機は柳生もりの子保育園の屋根にパネルを設置30キロワット、第三号機は塩竈のあゆみ保育所の屋根に設置予定です。営業収益は冬場の半年間で200万円をこえ、10年で基金を回収する見通しです。しかし、原弁は100万キロワット、われわれは100万キロワット。100万円をこきりしめて100万円の大金持ちに立ち向かっているようなも



賛成多数にて採決されました

の。発電機の問題ではなく理念の問題だと思ひ、取り組んでいきます。

(2) 地域包括ケアシステムについての補足

2014年に強行された医療介護総合法で、従来の介護法の枠内であった要支援1・2の通所介護・訪問介護は各自自治体の総合事業に移行されました。その結果、入院病床の削減、在宅支援の押し出しが強まりました。要介護1・2もほぼ必ず計画で安上がりの地域包括ケアになる危険性があります。地域でまともな医療や介護が受けられない介護難民、医療難民が続出しかねません。高齢協では地域の中で互いに支えあつて仕組み、コミュニティケアを作ることをめざしていますが、その意味では、具体化されていく地域包括ケアシステムは高齢協のめざすものと相違なるようになり、政府の安上がり地域包括ケアとわがわがの地域でせめぎ合うこととなります。行政の下請けではなく実践を通じて高齢者の人権を守る行動をする事。戦い互助要求するコミュニティケアを肝に据えた高齢協の活動が今後求められていくのではないのでしょうか。

〇米谷明子総代

石巻の活動を報告いたします。大街道に開所した「ひなたぼっこ石巻」は、初め人が集まりませんでした。その後お習字、お花、石巻の郷土歴史の会、カラオケ、お花見などの活動で近所の方も来てくれるようになりました。みなさんが楽しんでくれるような憩いの場にしていきたいと思ひます。活動しているパンロン教室は、お茶を飲みながらコミュニティセッションを図り、三浦理事もお借りしてやってきました。

また手作りの手帳を販売しています。熊本地震への募金としたいと思ひます。ご協力お願いいたします。

〇齋藤秀子総代

私は泉中央老人福祉センターでカラオケ、ちぎの絵、映画鑑賞など毎日楽しく過ごしております。お風呂仲間との会話も楽し、一日が短く感じるほど充実しております。職員や利用者の方々は、明るく、優しく接してくださるので、いつも感謝しております。

また、見学会やバス旅行での交流でも、他の利用者の方々の豊富な知識やお話の上手さに驚きながら、楽

しい時間を過ごせました。じわじわも色々な行事に参加し、多くの方々の出会いを大事にして、明るく生きしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

〇回答・まよぬ

◇菅野事業部長

(昆布谷さんの複益計算書の指摘について)

のページ「事業外損益」については、会計事務所と相談して標記の在り方を指導いただき、ご質問に添えるように検討したいと思ひます。

(菅野さんの小規模多機能について)

2010年から2011年にかけて議論され、東日本大震災でストップしたということもありますが、仙台市では補助金付きで毎年4か所3年で12ヶ所作るという計画についてを知らされたので、高齢協でも活用できるようにしました。

仙台市は建設費の上限3000万円、また高齢協として宿泊可能な定員は各ユニット準備金の50万円も補助されるというので、今の施設を改修して若干の自己資金は必要にな

りますが取り組むべきという感じになります。申請したわけではございません。

申請した自身は、登録から通いが4名、泊りが7名という規模です。しかし登録した人しか利用できないという面も持っているので、囲炉裏庵を継続的に運営できなくかかと理事会でも検討しています。

(旗野さんからの医師を巻き込んだ取り組みについて)

共したんその通りだと感じています。医師の水戸部先生に理事会に参加いただき、医療の情勢、地域包括センター・仙台市の動きなど情報をいただいています。本日も挨拶いただいた今田先生は高森地区にお住まいで、坂総病院の理事長を兼任され、地域にもっと貢献したいというお気持ちをお願いしております。健康相談や認知症をめぐる活動などを考えています。健康相談については月あたりから即実現したいと思ひます。

高齢者の見守り、買い物支援、生活総口支援についてはホームページの下、泉西部地域福祉事業所の事例を掲載しています。全体的には厳しいですが、私たちの事業所があるとい

ろ、地域センターがあるという可能な限り取り組んでいくようを理事会の中で確認していきます。

（熊倉さんの身元引受人について）

ご本人などからご意見、相談が寄せられています。他の高齢協でも正面から応えようという意向は、私たちが宮城でもうまいと可能なのか取り組んでいきたいと思っております。



まとめの話をする永野専務理事

◇永野三男専務理事の

今日は10人の方から発言をいただき、そのうち3人が職員です。組合員のみならずから発言いただきましたが、ご指摘です。

水戸部先生から原葬問題に対する提言をいただきました。水戸部先生は再稼働に反対だけでなく、自ら電気や起し活動などもされています。

当日資料の第2分冊の最後に私の小論文があります。来年4月に女川は再稼働させようとして準備しています。今日のテレビを覗いたら、あるテレビの解説者が「今の原子力規制委員会には規制ではない。推進委員会だ」と言っていました。原葬問題はまた何も解明されていません。

小規模多機能は運営する側では、採算が合わないとして一般的には嫌われており、仙台市でも普及が遅れています。現在、新潟や長野で行われているのを視察しています。また、特に人材問題はハローワークに出しても集まりません。本当に職を探している人は情報誌を使っているようです。何よりも、自ら働く人を見つけるのは職員であり組合員です。地域に訴えて、杜っごでは黒松で4名、近所から人材を確保することができそうです。人の確保も生活協同組合の優位性を活かした取り組みが必要です。何よりもわれわれの情報の発信が弱いのではないかと感じています。今後とも組合員の「指導」協力をお願いします。

○特別決議

八乙女社この松原総代よりの総会アピール提案の発表が行われ、満場一致で承認されました。

○閉会あいさつ

永野副理事長が閉会のあいさつを行いました。

	1号議案	2号議案	3号議案	4号議案	5号議案
賛成	85	84	85	83	84
保留	0	0	0	2	1
反対	0	1	0	0	0



退任理事を表彰（三浦理事）



総会アピール提案
（八乙女社つこ松原さん）



新任理事より挨拶

理事	長	丹野 幸子
副理事	長	永野 三男 （代表理事）
副理事	長	佐々木 陽悦
専務理事		菅野 俊明
常務理事		長尾 智美 （代表理事）
常務理事		川上 洋子
常務理事		二関 邦人
理事		伊藤 恵仁
理事		遠藤 クニ子
理事		加藤 公子
理事		菊地 きいこ
理事		坂林 哲雄
理事		佐藤 郁子
理事		永野 まり子
理事		半澤 晃
理事		水戸部 秀利
理事		山崎 次子
理事		板橋 恵美子
理事		高橋 初子
監事		横尾 盛雄

第一回理事会で体制を決定しました。

事業所だより

〇八女杜(こ)

5月末からの月初旬にかけて毎年恒例の『感謝の日』の作業を行いました。口頭お世話になってこの周りに、ありがとうございますの気持ちを伝えられる口頭お世話取り組んでいます。いつも感謝してあげて素直に伝えられる子にも「感謝をありがとう」と言葉がまだ難しい子にも良い機会になってほしいと思います。



道路に面して掲示板を設置。活動紹介しています

八女杜(こ)の駐車場入り口には掲示板があります。イベントのお知らせが、

もう少し興味を持ってもらえないかな。と思う『今月の杜(こ)』を紹介しています。工作や美味しくて簡単な手作りおやつに詳しい方が目にしてくれたら、「意見やご提案等を頂けるのではないかと」下心満載ですが、杜(こ)の1風景を楽しんで頂けたらと思います。(管理者 田村芳恵)

〇寺岡杜(こ)

公園が大好きな寺岡杜(こ)のスタッフも、梅雨空が続くこの時期は、

スタッフによって頭の痛い季節です。そこで、公園じゃなくても「楽しむ」と感じてもらおうと、6月は室内遊びとおやつを充実を目標にしました。子どもたちが遊びやすいように工夫した玉入れや釣、魚釣りにボーリング、おやつはヨーグルトや果物、パンの型抜き、お土産屋さん称して好きなお菓子を決められた金額分選んだら…。その中で特に好評だったのは『べら焼き作り』。パンケーキの生地にあんこ生クリームを挟んだ生クリームです。子どもたちもいっしょに生地を流して焼くという耳ついたら「足もつけようよ、よく見よう」焼き時間は違ってもが出来

上がりましたが、子どもたちの「おかわりー」の声に幸せな気持ちになりました。梅雨明けまであと少し、女園に響く「ただいまー今日公園？」の声に今月の目標目指してまた頑張ろうと思うのでした。(管理者 蛇口果華)



どれにしようかな…

〇黒松杜(こ)

初夏の陽射しを浴びて

6月4日、大和町吉岡にある『NPO 黒川』の応援団を訪ね、町のメインストリートにある建物の2階の就労施設でお刺繍を見学してきました。色鮮やかなお刺繍が沢山飾ってありました。1階には「にじりか」の美術館が併設されていて、先輩たちの個性豊かな絵画や陶芸の作品が展示されており、独特の

色使いと迫力に圧倒されながら鑑賞してきました。障害のある方が運営する食堂もあって、思い思いにカシラアイスやごはんやラーメンを注文して食べました。食後、大和町総合運動公園のひろい原っぱで思い切りの体を動かす、女子チームは、花の冠を作っていました。マイナスイオンの中で遊んでいると、みんなの笑顔が一層輝きを増していきます。これからも新しい体験への出会いを求めて、いろんな所にお出かけしていきます。(担当 門田 直也)



のんびりしてきました～

〇高森杜(こ)

六月のお誕生会の際には、ホットケーキ作りをしました。かき混ぜる・ホットプレートに入れる・焼けてきたら裏返す、という作業を、実際やるには専用の道具を溶

いろいろな焼き具合があるね
 (顔に見える?)



いろいろな焼き具合があるね
 (顔に見える?)

一生懸命、力をこめて



「おやかなあ笑い声のなか「ハッピー
 バースデイ」を歌い、焼けたケーキ
 の上にも果物を載せてみんなでお祝い
 いただきました。

〇泉中央老人福祉センター

毎日をいきいき

「元気に明るい笑顔で」

泉中央老人福祉センターでは、毎
 日昼下がりには、利用者みなさん職員で
 「当地おらほのラジオ体操第一」、ラ
 ジオ体操第一、さらにサザエさん体
 操を行っています。多い日で15人
 くらいの方が参加され、楽しく体
 を動かしています。

サザエさん体操は2009年に仙
 台市泉区の市体育指導員の方が「体
 操を通じて絆を深め、災害時に互い
 に声を掛け合える地域にしよう」と
 考案されました。世代を問わず楽し
 く運動できると評判です。昨年のセ
 ンター祭では、参加者全員で行った
 時は会場が一瞬にのり狂っていました。
 ラジオ体操は有酸素運動、筋力、
 ストレッチ、と無理なく動かせるバ
 ランス運動、全身運動です。いいと
 ころのための体操です。毎日、続ける
 ことで健康の維持、介護予防にも繋

がっています。これからも皆さんが
 元気で明るく楽しく過ごしていきな
 らうように、今度も声を掛け合って
 いーい、2、3、4、！

(館長代理 佐藤千恵子)



気持ちよく深呼吸

〇田代裏庵たかもり

田代裏庵たかもりは、退職した職
 員や地域の方々に助けられて新年度
 をスタートしました。5月からよう
 やく常勤、非常勤それぞれ名づつ
 新たな職員を迎え、丸2ヶ月が過ぎ
 たところです。職員の異動もあり業
 務を覚えるのが大変でしたが、よう
 やく慣れてきましたように思いま
 す。介護保険制度の変更に伴い地

域密着型通所介護事業所となり、6
 月には定員を10名から15名に増
 しました。「地域の住みなれた場所
 で最後まで暮らしたい」という思い
 に応えらるる事業所として職員一同
 取り組んでいきたいと思っております。

(所長 長尾智美)



毎月作っているカレンダー、7月分です

〇泉西部地域福祉事業所

今年度も皆様の多大な応援をいた
 だき、楽しく行事を開催しておりま
 す。全体としては

- 5月20日 仙台街中の彫像巡り
- 6月12日 「じじい」
- 6月26日 (各地域の代表による運営委員会)
- 6月26日 宮城高輪協・総代会参加
- 7月24日 地底の森ミュージアム見学
- 9月 仙石文学館 (PHE)
- 10月 北ヨコソバ (PHE)

4月22日

「いわかしの地域のあそび」に触れる

「飯田のバーベキュー」

5月20日 映画鑑賞

「殿-利貞がイダシ」

「風食はレストラン」

7月31日

「なんでも相談会」

実施予定

「風食は流し」

皆様の積極的な参加をお待ちしております。(所長 永野まゆみ)

ひなたぼっこ石巻

第1回史跡めぐり

「女川飯田口説(はんだくどき)の舞台を訪ねて」



7月1日(金)、快晴の天候に恵まれ、ひなたぼっこ石巻から追分温泉バスに乗り込み、車内は参加者皆さんの明るく楽しい元気な声で飛び交っていました。窓の外は東日本大震災の復興工事がいたるところで行われている風景。北上川「ソンの群生」についてのお話、「飯田口説」の舞台

なつた地域での説明を聴きながら追分温泉に到着。

神農太郎先生の講演は女川町と北上町の「女川」について、「橋浦女川と牡鹿女川」の歴史と、「追分温泉」の温泉の質や山を越える意志津川津山への道があるようなどについてでした。「飯田口説」は1752年、旧女川村(石巻市北上町女川)の領主飯田能登道親の妻於節と、使用人の口搭喜右衛門が恋仲になり、飯田能登を殺害。2人で右手まで逃したが追いつ手に捕まり、処刑された事件であることを、神農先生の分かりやすい言葉と身振り手振りと素敵な歌声も交えての講演内容で楽しく聞かされた出来事でした。また、「お城の屋根の名称、形、城跡と城址の違い」など歴史にまつわるお話など盛り沢山。

講演後は、美味しい風食を頂き満腹。食後はのんびり温泉に入る人、散歩をする人、歌声を響かせる人など思い思い楽しく過ごすことが出来ました。参加者は講師含め10名ほど大変好評でした。参加された皆様お疲れ様でした。次回もお楽しみに…。

(担当 齋藤弘子)

◎水分補給をまめに

熱中症に

気をつけよう！

本格的な夏が近づいてきました。最近では熱中症で何人倒れたというニュースを目にすることが以前より多くなつたように思います。特に中高年齢者にとっては重大な問題です。加齢によって体内の水分量が減少し脱水を起す危険性が高くなつていくのと同時に、若い人に比べて温度を感じにくくなる重篤化しやすい傾向があります。

※対策

- 熱中症を防ぐためには
- ①日中、涼しい場所に行く
- ②首筋を冷やす商品などで予防グッズを利用する
- ③こまめに水分と塩分を補給する
- ④外出時には、日傘や帽子を着用し直射日光を避ける。

(参考文献：まなびの健康)

事務局よりお知らせ

介護職員初任者研修を3年ぶりに開催企画中です。詳しくは宮城県承認後にお知らせします。(お問合せは事務局まで)

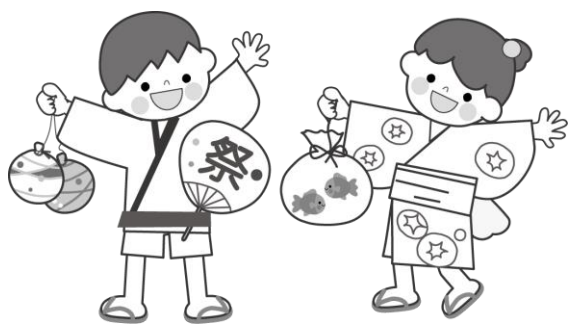
日時 10月11日

11月10日

費用 6万円(テキスト代金 分割可)

※組合員割引 5千円
場所 介護老人福祉施設 田子のまち

社会福祉法人 宮城厚生福祉会
(仙石線福田町駅より徒歩5分)
応募締めのり：6月20日



震災復興支援ツアー



参加者募集

2016年9月11日(日)〜

12日(月)

震災から5年半、今年も震災復興支援ツアーを開催します。

募集…40名

行先…集合 宮城県仙台駅東口

一日目 石巻雄勝地区を視察

パレス松洲ホテル宿泊

二日目 福島県南相馬市

浪江町

費用…2万6千円

締切…8月21日(日)必着

応募方法…FAXまたはハガキにて、氏名・住所・電話番号を記載の上、事務局までお申し込みください。



日和山から市内を望む参加者 (昨年)

クマに注意!



今年はクマの目撃情報が昨年よりも格段に増え、他県では襲われ亡くなる方も出ています。宮城でも、泉区紫山など事業所近辺でも複数回目撃されています。原因は、森林伐採などで生活域が小さくなっていく中、昨年のブナの実の豊作で個体数が増えたから等様々なことが言われていますが詳しいことはわかりません。今のところ対策は、従来言われているようにクマ鈴やフシオなどで人の存在を知らせるというもののしかないようです。(人を襲ったことを覚えてしまったクマには逆効果だとも…) 山菜取り、キノコ狩り、登山等で入山するときは引き続き注意が必要です。キャンプなどには必ずクマ鈴を持参しましょう。もしクマに出会ってしまったら「死んだら」は効果ありません。できるだけ自分を大きく見せ、「うしろ向き」のコンテックな姿勢を保持してゆっくり注意を回すことが大切です。

編集部のご報告

参院選の投票が終わりました。皆さんは選挙に行きましたでしょうか。毎回行かれている方が多いと思いますが、中には「行ってもしょうがない、大勢は変わらないから」と思っている、特に若い方がいるかも知れません。

ただ、若い方の投票率が低い状況が続くと、若い世代の意見が反映されない、そういう意味で世代的に偏った政治状況になってしまったり、若い人が『損』してしまうことになるという報道もありました。投票行動自体、それだけでも意義のあることだと思います。短縮的ではなく長いスパンで見通し、投票するかどうかを、あつちの国ではなごうか。



クマの爪の怖さが伝わってきます (大和町・七つ森にて)